

平成18年2月1日
農林水産省生産局

平成17年度飼料問題懇談会（第2回）の概要について

1. 日 時：平成18年1月27日（金） 13：30～16：10

2. 場 所：農林水産省三番町共用会議所大会議室

3. 委 員：別紙のとおり（委員欠席1名）

4. 議事概要：

事務局等から配付資料の説明が行われた後、意見交換が行われました。委員からの主な発言は以下のとおりでした。

- 今年度は、中国からの稲わら輸入が停止したことから、県内で収集した稲わらを県外へ移出した事例があった。協力した耕種農家は、「来年度以降も話があれば是非やりたい。」という話であった。一度取り組むと、継続した取り組みが期待できる。
- メガファーム（大規模酪農）では草の必要量を確保するのが難しいが、栃木県のメガファームにおいて、土地の購入又は借り上げにより、是非、草づくりをやりたいという話や公共牧場を利用したいという話がある。
- 現在、とうもろこし、こうりゃんの飼料穀物輸入のほとんどは米国からの一国集中となっているが、今年もハリケーンが発生しないとは限らないので、輸入先国は分散させるべきではないのか。
- 飼料穀物産地の多様化は常に念頭に置いているが、飼料の安全性、経済性、安定供給の面から米国からの一国集中となっているのが実態。経済性、安全性を考慮すると米国以外は対応しきれていないのが現状であるが、引き続き、情報収集には努めていきたい。
- エコフィード（食品残さの飼料化）がこれからの飼料自給率向上の大きなテーマ。点としてはエコフィードの取組が進んでいる実感があるが、点であって面に拡大するのは大変なこと。取り組んでいる方々の話しでは「社会貢献の気持ちがなければ取り組めない。」という。
- 食品残さを配合飼料原料として利用することは、まだまだ研究が必要。取組事例を一つ一つ積み重ねていくことが、食品残さの活用につながると考える。

- 製造量や流通地域が制限されるが、エコフィードを銘柄化してビジネスにしている事例がある。しかしながら、安定した品質と量の確保に課題があり、点的な取組はあっても全国的な取組になっていない。
- 配合飼料には食品加工残さが使われている。一方、食品残さは多様であり、量の確保や品質にバラツキが大きいことから、配合飼料メーカーでは食品残さを配合飼料と組み合わせて使う、飼料配合のノウハウを提供している事例がある。
- 現在のエコフィードの取組は、昔の「残飯養豚」の陰を引きずっておらず、差別化された畜産物を生産するための新しいビジネスになっている。それを大規模の養豚農家は認識しているが、中小規模の養豚農家は認識できていない。そこで配合飼料メーカーがノウハウを提供することもできるのではないか。
- エコフィードの全国シンポジウム（1月30日開催予定）には、全国から400名を超える参加希望がある。それだけの関心があるということだが、一方でそれだけの課題があるということ。
- 米国はエネルギー包括法案において、2010年にトウモロコシからのエタノール生産を倍増する計画であり、また、中国は次期政府5ヶ年計画のうち農業振興政策で畜産に重点を置くといわれている。将来的には、飼料穀物の不足も危惧されることから、中期（4～5年）的な国際的需要動向の情報収集、調査・分析を行うとともに、分かりやすく情報提供してほしい。
- 食品衛生法のポジティブリスト制の導入に伴い、飼料安全法上の基準が拡大することになるが、飼料安全法の使用基準を遵守していれば、食品衛生法においても問題ないのか。農薬の畜産物への残留メカニズムや通常の使用基準を守っていれば安全だという情報提供をお願いしたい。
- 米の飼料利用については、これまでも余剰米の処理として利用されてきたところであるが、なし崩しにならないように、飼料政策における位置づけ（栄養、経済性等）を整理しておくべきではないか。

お問い合わせ先

生産局畜産部畜産振興課企画班

担当者 島森、井上、尾原

代表03-3502-8111

内線3896、3897、3898

直通03-3591-6745

飼料問題懇談会委員名簿

氏名	役職
浅野 九郎治	社団法人日本草地畜産種子協会 会長
阿部 亮	日本大学生物資源科学部 教授
犬伏 由利子	消費科学連合会 副会長
小泉 健一郎	飼料輸出入協議会 理事長
生源寺 眞一	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
高木 勇樹	農林漁業金融公庫 総裁
内藤 廣信	社団法人中央畜産会 常務理事
成清 一臣	全国農業協同組合連合会 常務理事
野崎 修	社団法人配合飼料供給安定機構 理事長
林 茂昭	全国酪農業協同組合連合会 専務理事
平野 宏	協同組合日本飼料工業会 会長
富士 重夫	全国農業協同組合中央会 基本農政対策部長
増田 淳子	ジャーナリスト
山口 幸志	全国畜産課長会 会長（栃木県畜産振興課長）

五十音順